

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國其他

對

菟木貞夫其他

宣誓供述書

供述者

高木

登

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先以別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ
如ク供述致シマス

一、私は本籍大阪市北區老松町二丁目二番地で現住所兵庫縣西宮市神呪天神
下拾五番地に住み當五拾二歳の者であります
二、私は昭和十六年四月より現在に至る迄大阪市西區川口町大阪沿岸荷役統
制組合に勤務している者であります
三、私は昭和十八年九月頃大阪市港區大阪俘虜收容所本所に於て同所長陸軍
大佐村田宗太郎氏が俘虜使用關係者の募集を求めその席上で別紙の旨の
訓示を爲されたことに相違ありません

訓 示

A 俘虜ハ敵國人ナガラ立派ナ軍人デアル今ハ俘虜トナリ自由ヲ失ヒ武器
モナク赤子ト同ジデアアルカラソレフノ者チ腕力又ハ其ノ他ノ私的制裁
ヲ行フモノデアハナイ違反者ガアレバ當收容所ニテ國際法ニ依リ公平ナ
ル處罰ヲ行フモノデアアルカラ諸君ハ立派ナ人ニ對スル待遇ヲセネバナ
ラナイ

B 作業ニ依リテ身体ヲ悪クシテハナラヌカラ收容所ハ勿論就勞先ニ於テ
モ出來ルダケ飲食物其ノ他衛生ニ注意シ多分ノカロリーヲ給與サルル
處實行シテモラセタセノデアアル云々

以 上

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

宣

誓

書

(署名捺印)

高

木

登

昭和二十二年（一九四七年）五月拾三日於大阪市

西區川口町參拾六番地

供述者

高木

登

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於同所

立會人

西村

良

一